

日六十月二

# 常盤寺日新聞

定価 一月五圓 三月十五圓 半年三十圓 一年六十圓  
 廣告料 五圓以上 十字以下 一行五圓 五圓以上  
 日曜 祭日の日 日刊 休刊  
 發行所 常盤寺 常盤寺日新聞社  
 電話 六二〇  
 印刷所 常盤寺 日印刷株式會社

## 體現こそ成佛境

眞繼

壺に水が入るといふは、靈に凹みがあつて中が空洞だからである、人間が悟りを開き佛に救はれるといふのは道を求め佛にすがるといふ凹みありて後の話である、叩けば開かれ求むれば與へられるので、叩かざるに戸の開くためしなきは頑石に水の盛られ難きと同二理趣である。佛を求むるといふ態度に二つある。第一は本來無我の道理をきわめ己れを空にして佛を迎へ入れることである、身を捨て、こそ浮かむ瀬もあるのは轉身の要訣であつてどうせ永久にこの肉身を持ちこたへる工夫はない。

それを憐れむ佛様のお慈悲に抱き締められながら泣きたいだけ存分に泣かうといふのである、泣き聲が大きければ大きいだけ佛様は無理はないと慈悲の御手を強く抱き締めて下さる、その結果は必ず彌陀の淨土に

## ノート

チブス後の人が頗る丈夫になるのは食物に注意して胃に安息を與へるのも一原因胃の酷使は短命の原因

救ひ取つて下さる御誓願を信じて委せざることに生さうしていつとはなしに生即不生無生自然のことわりをおのづから分らせて頂くことになるので、彌陀の慈悲を信ずるといふとも實は信不信の境を脱したところ

## 二明日の献立二

- 【朝】かき煮：ほうれん草 かき煮
- 【晝】さしみ：鮮魚 短冊 うど
- 【晩】煮染：竹輪類 里芋 生揚 豆腐

が自然法爾の道である、自力門といひ他力門といふとも要するに佛様を拜として心内の主人公に迎へ取るか自分がお嫁さんとなつて佛様のふところへ興入れするかの相違である。

机上の佛學や口舌の戲論にかゝはるともそれは何處まで行つても哲學を出でず人間生活の上に生きた宗教とは成りかねる。

**木村外科醫院**  
 平町五丁目橋際  
 電話三〇九

**セメント** 磐城セメント株式會社  
**壁用材料**  
**コールタール** 代理店 **西村屋藥舖**  
**ペンキ塗料**  
**板ガラス**  
 平町二丁目 電三

**金銀高價買入**  
 平町二丁目(三幸堂跡)  
**根本時計店**  
 電話六〇七番

平新川町十九  
**木村病院**  
 電話一六四番  
 産婦人科 院長 木村寅次郎  
 婦人科  
 内臓外科 醫學士 内木宗八  
 整形外科  
 泌尿科

**全外科** 醫學博士 渡部義夫  
**小兒科** 醫學博士 渡部義夫  
**内科** 醫學博士 渡部義夫  
 平町田町大通り(電話二七七番)  
**渡部外科**  
 入院應需

**玉屋洋品店**  
 平町田町通電話六五六番



**耳鼻咽喉科専門**  
 氣管食道科  
 平南町(電話一七〇番)  
**大和田醫院**

**食事** **喫茶**  
**喫茶**  
 電話六四番

**御贈答品**

磐城名産 **鯉節漬**  
**魚問屋**  
 最優最大 日賀目 本盛電 生命平 代理店 榮三番

# 讀本と修身に現れた 職業上の教材

## 平職業紹介所が調査 各家庭の留意を望むと

平職業紹介所では今春卒業すべき小學生中から職業戦線に起つて働くべき就職希望児童の爲め聯絡各小學校と共に四家主任、神長倉氏其他晝夜兼行にて種々努力し可憐なる彼等の第一歩を誤らしめぬ様性能検査其他に依つて指導の任に當つて居るが年々増加の傾向ある就職児童の數に鑑み今後學校は勿論家庭に於ても職業指導に關し種々の心構へを平常に於て涵養する事の肝要なるを察知し過般來國語讀本及び修身教科書の内に現れた職業に關する教材を調査中であつたが左記國語讀本及び修身教科書中の題目を何れも職業教育の最適なる參考資料たり得るものと爲し學校及び家庭に於て左記題目の内容の中から充分職業意識を兒童の頭腦に注入されん事を望むとの事である

- ▽國語讀本
- (尋一) ハヤオキ 五一ぢ
  - いさん 麥まき 私ども
  - の町 大工小屋 本杉

- ▽修身教科書
- (尋一) なまけるな
  - (尋二) 自分の事は自分でせよ 勉強せよ 工夫せよ
  - (尋三) 孝子 正直 恩を

- (尋三) 大賣出し 蠶ぶ
- どう 俵の山 海しけな
- ぎ メリンス
- (尋四) 鍛冶屋 航海 注文 手の働 炭焼看板

- 忘れるな
- (尋四) 志を立てよ 勉強 忠實 自立 自營 仕事

- (尋五) 産業を興せ 兄弟 進取の氣象 勤勞
- (尋六) 國運の發展 忠君 愛國 進取の氣象 工夫 自立自營 男子の務と女子の務 勤勉
- (高二) 家 孝行 正直 勉學 職業 勤勉 自立 自營 質素 同情 共同 修養 戊申詔書 忠良なる臣民 主人と召使 女子の本分
- (高二) 忠孝 夫婦 勉學 習業 智能 公益 世務

## 惡水豫防の 議員を改選

### 平町外二ヶ村の當選者

平町外二ヶ村惡水豫防組合議員は定員十二名此程満期となつたので昨十五日、内郷、飯野各町村役場で一齊選挙を行つた結果當選左の如く決定した

- (平町) 吉田寅之輔 松崎
- 長太郎 猪狩角吉(飯野)
- 伊藤淺之助 江尻陸作
- 江尻保地 山崎吉平 伊藤綱之助(内郷) 四家又一 山崎才次郎 加藤丈夫 菅波忠治

## アワビ漁を計劃

### 潜水用具を常備して 海底を調査

石城郡小名濱漁業組合ではアハビの漁獲を企て過般靜岡縣より優秀な潜水夫三浦定之助を招き附近海底の調査をした處今後漁獲せぬ限り將來有望な事が判明したので同組合では豫算二千餘圓を投じて潜水用具を常備

し海底に於けるアハビの生息を常に調査する事になつた

## 農家經濟 打開策を協議

石城郡泉村では来る十八日午後一時より役場會議室に於いて自力更生委員會を聞き農家經濟打開策に就いて務協議を行ふと

## 小名濱の漁獲高 昨年約七十萬圓

石城郡小名濱に於いて七年度に水揚した漁獲物高は約七十萬圓の巨額に及んだが主なる漁獲金額は左の如くである

- △鯛、一萬九千三百一圓
- △平目、四萬三千二百八圓
- △鱈、三萬九千七百八十八圓
- △ペンナガ、一萬六千四百四圓
- △鱈、十九萬三千七百五十五圓
- △ブリ、六千九百七圓
- △鰯、二十一萬四千四百七十一圓
- △秋刀魚、四萬四千八百八圓
- △サバ、三萬九千四百圓
- △ナマコ、二萬三千八百二十圓

## 飯野匡救 工事完成

石城郡飯野村の匡救事業たる谷川瀬地内道路改修及び中山地内溜池擴張工事は此程竣功を見たので八年度匡救事業に就いて協議を行ふと

## 平商教練視察 双葉

中學校松田教諭は本日午前八時五十分着にて來平平商業學校に於ける教練其他授業の視察をした

## 購買事業を促進

本日石城産業組合が協議監督及び指導の爲め來月七八の兩日は植田町翌九、十の兩日は平町に夫々縣屬を出張せしむると

## 平町人事

- 回出生
- △古鍛冶町一二 大野力矢
- 氏四男松吉
- 回死亡
- △古鍛冶町三一 當時石城郡勿來町字出藤二十岩原文男(二ツ)

## 巨救事業 事務監査

縣では石城郡下各町村に於ける財務、巨救事業の二方面に於ける出納決算等

美味!  
芳醇!

# 宗正らひた

山崎合名會社  
電話一〇番

## 看護婦急派 の求めに應

とします

## 平看護婦會

電話三〇七番

## 一冊の代金で 御希望通りな

## 五冊の雑誌が 自由に讀める

## 川崎文庫

申込次第(規則書送呈)

# 親子心中の

## 母親が遂に發狂

### 罪の苛責に耐えぬか

### 獄中にて自殺を企つ

## 目下精神鑑定中

既報来る二十一日午前九時より平支部に於て中島裁判長係りの下に

### 公判開廷

あつた生活難から長男克巳(七)及び長女千代(三)の兩名を内郷村白水川に投げ込んで溺死せしめ親子心中を企てた殺人犯人平町立町居住日雇業相馬賢次郎内縁の

妻佐藤ステ(三)は恐るべき罪の苛責に耐えず遂に精神に異状を呈しあらぬ事を口走り屢々自殺を遂げんとする様子があるの

裁判長が 鑑定の必要ありと認め目下大森醫師が平刑務所に出張問答其他の方法に依つて鑑定中である

# 節窓破り

## 昨夜平署に捕る

### 網走生れの若者

昨夜十二時頃平署員が三丁目地内を密行中一名の男が懷中を抱へ乍ら立ち去るのを怪み取調んとするや逃走を圖つたので大格闘の上取押へ本署で取調べると同人は北海道網走町生れ當時住所不定吉田清(三)で同夜三丁目金物商佐々木長作方のウエンドを焼切り陳列されてあつた西洋鍍及び安全手剃刀ライター其他を窃取逃走せんとした處で餘罪多

數あり見込で取調中である

### 警中四年生が

### 士官學校合格

磐城中等學校四年生小名濱町鷹大典君は本日陸軍士官學校に合格した旨の通知に接し校中非常な喜びに溢れて居る

### 飯野満蒙講演

石城郡飯野村教育會では去る十

## 各部の功勞者を

### 平商が表彰する

### 卒業式終了後に

平商業學校々友會にては來る三月十二日卒業式終了後左記各部功勞者二十名に對しメダル及び賞状を授與し表彰する事になつたと

- (文藝部) 渡邊好雄 武田善之助(庭球部) 小齊榮祐 (野球部) 島田鷹四郎 根本寅男 星野嘉久治 鈴木
- 木道雄 隈川幸夫(競技部) 須藤徳太郎 叶多芳衛(辯論部) 澁谷光哉(弓道部) 内藏武雄 大津賀清吉(劍道部) 外村武夫 吉成一(柔道部) 佐藤忠雄 大木茂 森田正光 遠藤喜平 名畑富能

## 前に衆望を博した

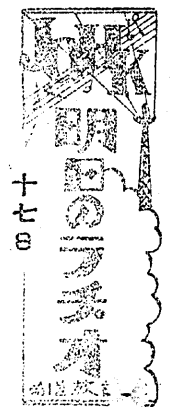
### 河西八十二氏來任

### 農工平支店長が更迭

農工銀行平支店長安部六三郎氏は突然本店に轉任する事となり不日出張する後任は前の支店長であつた河西八十二氏と決定したが同氏は前に支店長であつた時代は前に支店長であつた時代衆望を博して頗る行務の業績を伸長せしめた人であり且つ平地方の事情にもよく

## 宮の火災

原因はガンノ、既報昨十五日の烈風中發火して四戸全焼せしめた石城



## 今晚の部

- 後六、〇〇「子供の時間」 童謡 能仁幼稚園々兒
- 後七、三〇趣味講演「金山と鹿と猿」内海正治

## 明日の部

- 後八、〇〇三曲「六段千鳥の曲」佐々木佐喜豊外
- 後八、三〇河東節「邯鄲」 山彦不二子外
- 後九、三〇滿洲より

## 一二三文の物件で

### 競賣の落札がない

平町役場では昨十五日正午より六年度後期町税未納者百七十名金額千餘圓に對する差押物件の競賣を行つたが二足三文の物件のみで入札金額が豫定に達せず落札一名もなく來る廿二、三日頃再競賣に附する筈

## 平商に

### 音楽部

### 練習を開始

平商業學校にては此程音楽部を設け下山田教諭部長となり練習を開始したが部員は目下の處二十名位で新學年と共に部員を募り年に二回宛音樂會を開催する豫定である

## 平裁判たより

既報平町宇南町三十七番

- 後九、四〇全國ニュース 氣象通報 番組
- 明日の部
- 前九、一〇料理献立「鮮のすき焼」村井多嘉子
- 前一〇、三〇家庭講座「三造」旭堂南慶
- 後二、〇〇婦人講座「十二月月茶の湯」高橋義雄
- 後五、三五受驗講座 國語 内海弘藏

- 後六、〇〇子供の時間 お話「竹筒」萩尾悟郎
- 後七、三〇講演「デピス」カッパ戦出場の首途に際して」佐藤次郎
- 後七、三五講演「日支問題と列國の外交」法學博士 米田實
- 後八、〇〇ラヂオレビュ一「お蝶夫人の幻想」
- 後八、四〇浮世節「明治時代の流行歌」解説 榎道軒 圓玉 唄立花家橋之助

- 豆腐賣子 四十才 尋卒 賣上の二割給(平町某)
- 兒守 十四才 尋卒 仕着外年十圓(平町某)
- 回職を求める方
- 看護婦見習 十八才 高卒 給料面談(川部村某)
- 活版工 十七才 高一修 給料面談(平町某)
- 店員 二十五才 商業二修 給料面談(平町某)
- 雜夫 三十六才 尋卒 給料面談(平町某)

印刷御用命は總て  
常磐毎日印刷株式會社  
電話三六〇番

上野科醫院  
平町 南町  
電話二一九番

# 藤村先生

【禁脚上演及映畫】

悟道軒 圓玉演  
近藤 紫雲書

第二百六十八席 千葉周作

藤作構へなしとなる

千葉周作先生は潮來の役所に控へて居るそれへ出て来たは佐藤五左衛門

佐「コレは先生ようこそお出で下された、何うぞ此方へお通り下さい」

案内いたしたは客間、モウ日が暮れてゐるから灯を點しまづ茶を進め可憐なる待遇

佐「何ぞ御用があつて御出でになつたか」

周「イヤ香取神社に参詣いたしあれより津の宮に出て舟を雇ふて御當地に参つた舊友宮本茶村を訪ふためでございます」

佐「ア、左様でございますか茶村先生も折々あなたのお噂をいたし居る、手前は一昨年よう當地の役所詰となつてとんと江戸にも参らぬが、何時も先生には御繁昌に御過ごしなされて大慶至極」

周「イヤ、其許も御無事で芽出度い就てはお尋ねいたすことがござるが」

佐「それは何う云ふ事でございますか」

周「當役所に津の宮に居る船頭、四郎兵衛の悴藤作と申す者が捕へられて居ると



のことに  
佐「左様、この潮來の萬平と申す船頭を打殺したに就き當時窮命を申し付け追つて殿罰に處す事になつて居ります」

周「イヤ、その儀に就いて申入れべき事がござる承る

に藤作の父四郎兵衛は萬平と申す者の爲めに打殺された由しからばその悴藤作は父の仇を討ちしもの孝子を厳科に處するとは甚だ不法な事と存するが」

佐「仰せにはござるが、四郎兵衛は蘇生いたしまし

然らば親の敵を討つたものと認める事はなりませんと、認めざるは先生は當所に御留り下さい」

周「拙者は茶村先生の許に参つて居るその間左右は宮本の許まで御知らせ下さい……」

と云はして佐藤五左衛門は殺されるかと思つてゐたところへ呼び出しがあつたから今日こそ死ぬものと覺悟して白洲へ出ると佐藤五左衛門より構へなしとの達し

藤「お伺ひいたします、構へなしとは何う云ふお仕置を受けるでござりますか、心得のために、お尋ね申ます」

佐「構へなしと申すことが判らぬか、コレ藤作よく承れ、敵討は堅く御法を禁じてあるしかし格別の慈悲を以てこの度の事は差許す、依つて構へなし判つたか」

も暫くしてへてゐたが  
佐「これは先生の仰せ御尤も藤作が萬平と勝負いたすまでは四郎兵衛は死んで居つたしからば敵を討つたものに相違ない、我々共この邊を達せしは作を重き刑に行はんとしたは大失態、早

藤「歸り嬉しんで居るが立ません」  
云ふと白洲にゐた下役の者が

○「エー立て」  
藤作の手を取つて引立てた、白洲を出て門から突出すところへ津の宮の年寄が出て來て

○「ア、藤作目出度いことだ昨宵お役人様からの知らせがあつたので迎ひのために出で來たぞ、それに親父は蘇生して大分身體の痛みも去つたさうだ、これと云ふもわれの孝行を神様や佛様があらはれんだものであらう、まア何んにしても目出度い事だ……」

○「ア、藤作目出度いことだ昨宵お役人様からの知らせがあつたので迎ひのために出で來たぞ、それに親父は蘇生して大分身體の痛みも去つたさうだ、これと云ふもわれの孝行を神様や佛様があらはれんだものであらう、まア何んにしても目出度い事だ……」

**お醬油は ヤマフル**

醬油味噌  
たひら 正宗  
鰹節 食料品

山崎合名會社  
福島縣平町電話營業部三醸造工場  
明治生會磐城代理店 山崎與三郎

**斯界の權威!!! 大塚の靴**

自生編上靴 六圓  
女學生半靴 五圓

紳士靴弊店自慢の流行新形  
平田町 大塚製靴部 電話七七番

三河産業博覽會 金牌受賞  
昭利産業博覽會

かまぼこ製造  
お惣菜用 さつま揚 吉原揚

平町一丁目  
電話一四一番

**レメドール**  
米國製劑皮膚病良藥  
子宮あたゝめぐすり  
宮 溫湯  
丹波博士創製セキドメ

**たんばあめ**  
うまくてセキがヨクトマル

**靈藥ムテキ**  
エビハレ、ヤケド、キリキズ、淋病、梅毒、乳ハレ、スベテ化膿したものもを切らずに癒る

阿康藥舖  
平町古鍛冶町一〇  
縣社ノ下 電話四四番